

深閑寺庭 もみぢどき

河村郁子

菩提寺の庭はそれぞれ紅葉もみぢどきさくらもみぢと区の保護樹林

勝手にもへわたしの公孫樹いちやうと決めし樹は黄葉こんもり今を盛りと

名木と指定される公孫樹こうそんじゆ34メートルを樹下より見上ぐ

ゆくりなく吸ひ上げらるる心地して図太き幹に寄りかかりたり

黄葉を見つめ続けてあな不思議わが胸いつばい黄きいに華やぐ

散り敷くるいちやう落ち葉を踏みゆくあなうらに足裏あなうらに淡き触れ合ひ覚ゆ

しまらくを菩提樹の下に憩ひるて実を付けしままの落ち葉を拾ふ

ぎんなんは多弁 菩提樹の葉裏の実より耳元に声なき声聞く

十一面観音様の八角堂はびたり閉ざされ御目文字出来ぬ

奥の院の千手観音石碑まで歩み進めて落ち葉を払ひぬ